

書と。浄瑠璃と。

天羽汕景書展

2023

3/25(土) ~ 4/9(日)

9:30~17:00

入館料

一般410円、高・大310円、小・中200円

浄瑠璃の詞章を書で表現した作品や

浄瑠璃文字で書かれた作品など、

「伝統とモダンの融合」をテーマに、

意欲的に創作活動をつづける

天羽汕景の作品を

和の空間でお楽しみください。



歌舞伎の勘亭流や、相撲文字、寄席文字などジャンルごとに独自の文字を生み出した江戸時代。丸みのある極太の線で書かれた浄瑠璃文字は、七五調の美しい詞章とともに、声の調子や語り方まで表現しています。太夫は、浄瑠璃が記された床本に敬意を表し、押し戴いてから語り始めるのです。文字や書、そして浄瑠璃に込められた日本の美意識を感じていただければ幸いです。

壺坂観音霊験記

沢市内の段より

鳥の声

鐘の音さえ身にしてみても

思い出す程 涙が先へ

落ちて流るゝ妹背の川を

浄瑠璃と書の ライブパフォーマンス

2023

3/26(日) 15:00~16:00

書 天羽 汕景

太夫 大橋后代、長野紫寿（友和嘉会）

三味線 竹本友和嘉

観覧料 1,000円（入館料含む）

※チケット販売・予約受付開始

阿波十郎兵衛屋敷にて2月19日(日)9:30~

定員 100名限定

生写朝顔日記

宿屋の段より

露のひぬ間の朝顔を

照らす日かげのつれなきに

哀れひとむら雨の はらはらと降れかし

会場・お問い合わせ

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184

Tel.088-665-2202 Fax.088-665-3683

awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp

助成 とくしま文化・未来創造支援費補助金

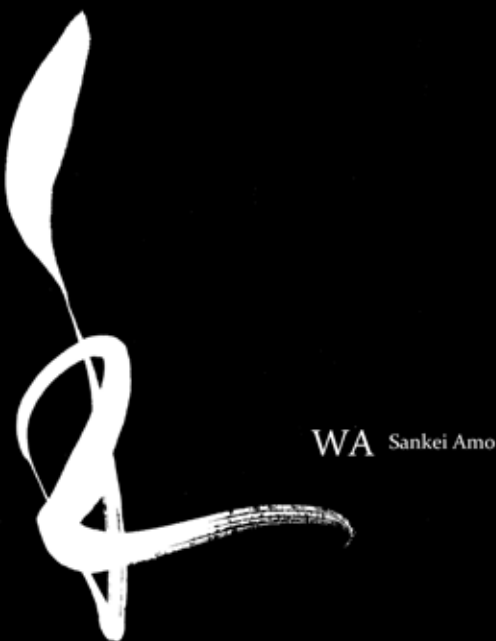


天羽 油景

天羽 油景

「伝統とモダンの融合」をテーマに伝統を重んじつつ、デジタル書といった新たな手法を用いた創作に意欲的に挑戦しつづけている。現在は書家として活動しながら、書道教室を主宰。力強いメッセージ性の中に、「凛」とした女性らしさを感じる作品は、国内外で高い評価を得ている。

- JR 四国『藍よしのがわトロッコ』ヘッドロゴ揮毫
- 徳島県民文化祭主催事業 伝統文化芸能舞台「あわの音の午後」題字揮毫
- 女流義太夫「阿波路会」ロゴ揮毫
- 伊弉諾神宮「紀元祭」奉祝揮毫
- Japan Expo 出展&パフォーマンス出演(パリ)
- 「OASIS international 2019」招待出展 オーディエンス賞受賞(パリ)
- フランス大統領後援「SALON DES BEAUX ARTS 2019」入選
ルーブル美術館展示(パリ)
- 「とくしま芸術文化奨励賞」受賞
- 四国大学書道文化学科卒業



竹本友和嘉

豊澤町子に師事し、昭和 51 年初舞台。平成 8 年鶴澤友路師匠(人間国宝)に入門し、平成 9 年竹本友和嘉を名乗る。東京国立劇場の「阿波の芸能」人形浄瑠璃公演をはじめ、国立演芸場での女流義太夫演奏会に出演するほか、数多くの海外公演にも参加。また小中学校対象の「義太夫節のワークショップ」をはじめ、十郎兵衛屋敷での義太夫教室や、女流義太夫会「阿波路会」を開催している。平成 14 年に人形浄瑠璃因協会奨励賞、平成 21 年には人形浄瑠璃因協会女子部門奨励賞、平成 29 年にとくしま芸術文化奨励賞を受賞。重要無形文化財(総合認定)保持者。

友和嘉会

平成 9 年に、竹本友和嘉師匠を指導者として発足した友和嘉会は、現在会員数 20 名のと徳島最大の語りの会。徳島県内はもとより、淡路・大阪等の大会にも積極的に参加している。

